



ペテロ行

2018年11月1日発行
(毎月1回1日発行)

カトリック谷山教会

891-0113
鹿児島市東谷山2-33-13

TEL 099-268-2084
FAX 099-284-5738

E-Mail: taniyama-cc@lagoon.ocn.ne.jp URL: http://www5.ocn.ne.jp/~tycc/

発行人： 頭島光 神父 編集委員： 太田勇二郎 Sr.下川千穂子 岸誠之助

喜びに喜べ

主任司祭 トマス頭島光 神父

これは今年の3月に発刊された、現教皇フランシスコ様の使徒的勧告のタイトルです。本書を開くと、まず初めに「喜びなさい。大いに喜びなさい」という文字が目飛び込んできます。喜びは、まるでフランシスコ教皇様のキャッチフレーズのようなものです。「福音の喜び」、「愛のよろこび」、そして今回の「喜び」に繋がっているからです。この喜びは、マタイ福音書5章10節の言葉から来ていますが、一体何が喜びなのでしょう。一言でいえば、それは、この勧告についている副題に答えがあります。〈現代世界における聖性〉。さて、その聖性って、どんな喜びですか？

■聖性への招き

神が私たちを作られた本当の理由、それは私たち人間を聖なる者とするためです。それは創造の初めから神の望みであり、み言葉は全てそのための招きの言葉なのです。聖書の初めの物語は、アブラハムのお話しですが、そこで神様の呼びかけた最初の言葉は「全き者となりなさい」でした。まさにこれこそ、聖性への招きのことばとなっています。聖なる者になるようにと、神は呼びかけておられるのです。まさにそのために主イエス様はこの世に送られた救い主であり、その使命は私たちを「ご自分の前で聖なる者」とすることであり、「汚れのない者になよう」と初めから定めておられたことなのです。



■聖霊の注ぎ

人間が他者のために愛をもって完全に為し遂げることは不可能です。しかし、聖霊はその豊かな注ぎによって、力を与えて下さいます。「人にはできないが、神にはできる」(マタ 19:26)とされている通りです。神は人が独りでは何もできないことを知っています。だから決して重荷を負わせるのことはなく、寧ろ支えて下さるお方です。

私とその弱さのために、ここかしこで苦しみ喘ぐとき、助けてくださるお方、それが聖霊の注ぎなのです。神は人が独りでできないことを負わせるようなお方ではなく、支えて下さるお方だからです。

■主のみこころに叶う者

聖なる者、全き者とは一体どのような者になることでしょうか。どこを探しても完全なものなど神以外にはありえません。それでも神は私たちを全き者とされるのでしょうか。そうだとすると、それはどのようにして可能なのでしょうか。私たち人間はどんなに素晴らしい業績を残したとしても失敗も過ちも犯します。それでも主のみこころに叶うことができるのでしょうか。主のみこころに叶う者とは、自分を捨ててでも誰かのために我が身を捧げつくすことです。他者のために自分の命のすべてを差し出すとき、あなたは聖なる者とされるのです。

■忍耐のしるし

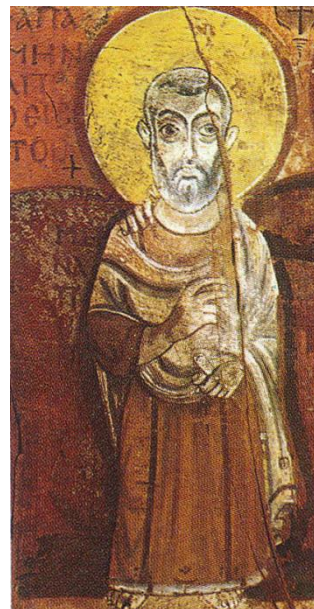
私たちは皆、聖性へと招かれているのですから、決して諦めてはいけません。忍耐して最後まで信仰のために愛の道を希望をもって歩み通すことが肝要です。時々、そんなに祈りばかりしていてもだめです、もっと奉仕しなさいと声が聞こえてくるかもしれません。しかし、それはある意味で間違いです。奉仕することは祈りなしに本当はできないからです。祈る心なしにはよりよく奉仕につながらないと言う方がいいかもしれません。いずれにせよ、忍耐して、最後までやる気を絶やさなさいことです。主は必ずそのために力をお与え下さるでしょう。

今月の聖人から 聖メナス殉教者 11月11日

聖メナスはエジプトで生まれ、ローマ軍の兵士になる前は「らくだ飼い」でキリスト教徒であった。彼の隊がフリジアに到着した時、ディオクレチアヌス皇帝の迫害が始まった。彼は殺されないように、軍隊から去って山中の洞穴に隠れた。

しかし、多数の信者たちが死刑になるのを知った

聖メナスは、自分の信仰を公にすることを決心した。そしてフリジアの円戯場に現れて、自分はキリスト信者だと宣言した。彼はたちまちその場で捕らえられ、責め苦を受けたが、信仰を守り続け、ついに斬首された。



Taniyama CC NEWS

☆ 10月7日

聖アルフォンソ
合唱団の今年の
巡礼ミサ曲奉献が、

福岡のカテドラル・大名町教会で行われました。二年越しの計画でやっと実現したのですが、直前の6日朝には台風25号の襲来もあって、一時はどうなることかと心配致しました。しかし7日は朝から台風一過の天候が回復したので、大勢の一般の方々、信者さんと共に集まって下さいました。あの大きな大聖堂が満杯になりました。ミサは幸田司教様の司式で行われ、私たちはその中でモーツァルトの戴冠ミサ曲をしっかりと奉献致しました。ミサ直後に、前日亡くなられたイ神父様のためのアンコールがあり、私たちは心を込めて Ave verum Corpus (アヴェ！真の御体) を歌いました。亡くなら

☆ 10月8日

中野新司教様の誕生に大喜びしていた私たちの耳に、突然ジェラルド大松正弘神父様の訃報が飛び込みました。叙階祝賀会には、あれ程元気になされていたのにと、とても信じる事が出来ませんでした。いつも笑顔でパイプをくゆらせ、私たちに優しく接して下さいました神父様は、今は天国で永遠

☆ 10月28日



例年に比べて「提供品」が少なかつたにも拘らず、立派な売り上げ（利益、



れた神父様のためにはとはいえ、アンコールが求められたのは初めてのことでした。ミサ後には、心を込めた食事会が用意されていて、大名町教会の信者さんと一緒に頂き、また「花は咲く」を一緒に合唱致しました。

の憩いの中に住まわられています。どうぞこれからも私たちを見守って下さい。

252,698円)を達成しました。皆様のご努力に厚く感謝いたします。その使い道については、後刻報告されます。



ジェラルド 大松正弘神父 (1957-2018)



ムイベルガ神父のアンテナ

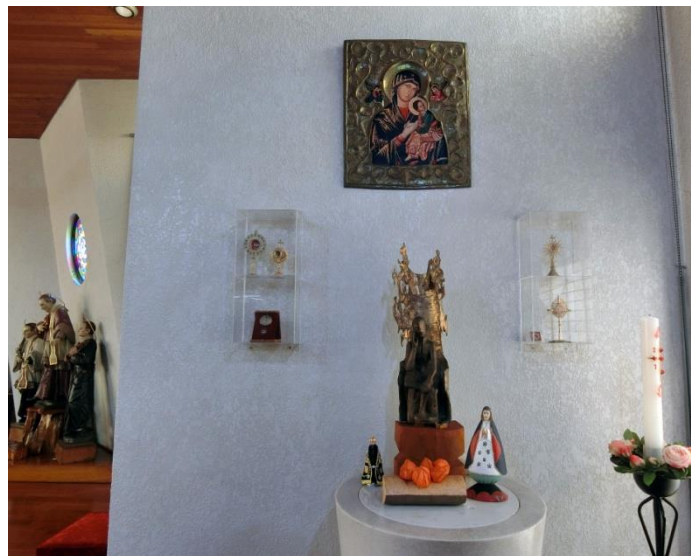
死者の記念日

死者の記念日の歴史は、650年頃フランスのクリニー修道院で始まりました。この記念日は、納骨堂に関するものだけではなく、私たちの心の目を開いてくれます。というのも、クリニー修道院の神父たちはお墓参りの際に、まずイエズス様の十字架の犠牲を見て神の子によって救いの門は開かれたことを感謝するように信者たちに望んだからです。しかしこの見方は、キリスト教社会の中で育てられていない人にとっては、実際分かりにくいところもあるでしょう。

50年前に私が日本にやって来た頃、日本語の先生は何度も私に「宣教師たちはよく十字架についての話をしますが、彼らはまず広隆寺の弥勒菩薩を見るべきです。」とおっしゃいました。私の神学の教授がこのアドバイスを知り合いの彫刻家に伝えますと、彼は弥勒菩薩を研究してこれに似たイエズス様のご像を作りました。谷山カトリック教会の聖堂の絶えざる御助けの聖母の御絵の近くにあるご像がそれです。ご像の上の方には、創造者である父の神の手と多くの小さな炎が降り注いでいるのが見えます。聖書によりますと、火は聖霊（または愛）の象徴です。また、真ん中には目に見えない王座があり、男性が座っています。それは、景教の宣教によってキリスト教に入ったゾク民族の王様の姿がモデルになっています。王様は時には裁判官の役目も行ない、座る際には脚を組みました。この姿は京都の弥勒菩薩のモデルになり、谷山教会のご像の彫刻家もこの座り方をモデルにしています。ご像についてより詳しく見てみましょう。まず、イエ

ズス様の脚は地面に触れています。それにより、神の言葉は我々の世界に入られたことが表わされています。イエズス様の左腕は下がっていて、指は全て下の方を指しています。これは、キリストは人間の社会のために生まれた事が表されています。また、神様の教えは聖書の中の山上の説教で教えられている通りですが、ご像の右手の人差し指と親指は弥勒菩薩と同じように輪を作っており、これは仏教の教えの業（カルマ）を表していて、キリスト教の教えと比較しています。

結局、芸術家はこのキリストであるご像を、私たちを救ってくれる裁判官として紹介しています。生命の終



わりにこの裁判官であるイエズス様に会うことが出来るよう、彼の言葉に基づいて私たちは生活しましょう。この嬉しい出会いを、聖アルフォンソは様々な歌のテーマにしました。その一つに「オベラ・ミア・スペランツァ」、日本語では「おお！私の美しい希望」があります。皆さんも是非聴いてみて下さい。最後に。長い間ペンテコステのために記事を毎月書

かせて頂いた事は、私にとり良い経験となりました。本当にいろんな方々から感想を聞かせて頂き、心から感謝申し上げます。しかし病気により、これ以上記事を書き続ける事は私の神経のために良くありませんので、今月号を持ちまして「ムイベルガ神父のアンテナ」はおしまいにさせて下さい。これからは記事を書く代わりに、皆さんのご健康と信仰のためにお祈りしています。

終わり。

平成30年 谷山教会11月の予定と祝日表 (11/1~11/30) 西暦2018年

日時	典礼 と 行事	朗読奉仕	掃除	班会等
11月1日 (木)	祭日 諸聖人 6:30 祭日ミサ			
2日 (金)	死者の日 19:00 初金ミサ ミサ後 典礼委員会			班会お休み班 ①②③⑩
3日 (土)	記念日 レオ七右衛門殉教祭 19:00 年間第31主日のミサ	国民の祝日(文化の日)		④掃除後教会
4日 (日)	6:30 & 9:00 年間第31主日 11:00 命日祭ミサ	奉納は掃除当番班が行う 十一月の行事当番は六・七班	橋口、岩寄	④
5日 (月)	6:30 朝ミサ			
6日 (火)	6:30 朝ミサ			
7日 (水)	19:00 召命ミサ			
8日 (木)	6:30 朝ミサ			
9日 (金)	祝日 ラテン教会の献堂 6:30 朝ミサ			
10日 (土)	記念日 聖レオー一世教皇教会博士 19:00 年間第32主日のミサ			⑤⑩掃除後教会
11日 (日)	記念日 聖マクス殉教者 6:30 & 9:00 年間第32主日 教会学校遠足			⑤⑩
12日 (月)	記念日 聖ヨソアト司教殉教者 6:30 朝ミサ	レノートル修道会会員集会及び選挙総会inOsaka		
13日 (火)	朝ミサ なし			
14日 (水)	19:00 召命ミサ			
15日 (木)	6:30 朝ミサ			
16日 (金)	6:30 朝ミサ			
17日 (土)	記念日 聖エリザベト(ハンガリー)修道女 19:00 年間第33主日のミサ			⑥⑦掃除後教会
18日 (日)	6:30 & 9:00 年間第33主日 貧しい人のための世界記念日 聖書週間 (25日まで)			⑥⑦
19日 (月)	6:30 朝ミサ 14:00 司祭評議会			
20日 (火)	6:30 朝ミサ 19:00 市民クリスマス実行委員会			
21日 (水)	記念日 聖マリアの奉献 19:00 召命ミサ ミサ後 求道者勉強会-6			
22日 (木)	記念日 聖セリアおとめ殉教者 6:30 朝ミサ			
23日 (金)	シトツ上陸記念祭 6:30 朝ミサ	国民の祝日(勤労感謝の日)		
24日 (土)	記念日 聖アンデレ・ジュン・ワカ司祭と同志殉教者 19:00 王であるキリストのミサ			⑧⑨掃除後教会
25日 (日)	6:30 & 9:00 祭日 王であるキリスト(年間第34週) ミサ後 司牧評議会			⑧⑨
26日 (月)	6:30 朝ミサ			
27日 (火)	6:30 朝ミサ			
28日 (水)	19:00 召命ミサ ミサ後 求道者勉強会-7			
29日 (木)	6:30 朝ミサ			
30日 (金)	祝日 聖アンデレ使徒 6:30 朝ミサ ミサ後 典礼委員会			
ロザリオの祈り [毎週(火) 10:00] 6日、13日、20日、27日				
聖書を学ぶ勉強会 (エレミヤ書) [毎週(水) 10:00] 7日、14日、21日、28日				
レジオ・マリエ [毎週(水) 14:00]				
聖書と教理- I [毎週(木) 15:00~16:30] 1日、8日、15日、22日、29日				
聖体礼拝 [毎週(木) 13:30~14:30] 8日、15日、22日、29日				
聖書と教理- II [毎週(金) 9:00~10:00] 1日の第1回はザビエルで7:00から 2日、9日、16日、23日、30日				

平成 30 年度(2018 年)第 6 回 司牧評議会の報告

2018. 10.14 ミサ後開催

【審議事項】

1. バザーの準備について話し合われました。

【日程のお知らせ】

- | | | |
|---------------|------------------------------------|---------------------|
| 10 月 28(日) | 9:00～ ロザリオの祈り ミサ 9:30～ | バザー11:00～14:00 |
| 11 月 2 日(金) | 19:00～ 初金ミサ後 典礼委員会 | |
| 3 日(土) | 文化の日「レオ税所七右衛門殉教祭」 | |
| | 11:00 京泊カトリック天主堂跡集合→巡礼行列→記念ミサ | |
| 4 日(日) | 11:00～ 「命日祭ミサ」於:やすらぎのドーム。 | |
| 5 日(月) | 19:00～納骨堂管理委員会 | |
| 11日(日) | ミサ後 教会学校遠足 | |
| 12 日(月)～15(木) | 主任司祭とボスコ神父はレデンプトール会総会参加のため留守(於:大阪) | |
| 13 日(火) | 朝ミサなし | |
| 21 日(水) | 19:00～ミサ後 求道者勉強会 | |
| 25 日(日) | 9:00～ ミサ後 司牧評議会 | |
| 30 日(金) | 18:30～ 典礼委員会 | |
| 12 月 9 日(日) | 13:00～ 市民クリスマス 於:ザビエル教会 | 11月からチケットの販売を開始します。 |

【報告事項】

掃除用具入れが新しくなりました。

【その他】

信徒会長より・・・班制度について

* 前回までの班制度について話合ったものをもとに、班の骨格は残しつつ、掃除、行事の仕事が出来る、動ける人数が 9 人から 11 人 くらいになるように、時間をかけて考えて行きたい。

来年の信徒総会にかけてから、スタートしたい。

(以上のことが話し合われた承されました)